



蒲生高校だより

第11巻 第2号 (通巻第32号)
発行日 平成24年12月21日

鹿児島県立蒲生高等学校
鹿児島県始良市蒲生町下久徳848-2
電話 0995-52-1155(代) FAX 0995-52-1161
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Kamo/

一生懸命な人は輝いている

今年は、オリンピックの年とあって、多くのアスリートから感動をもらった人も多かったと思います。一生懸命な姿に私たちの心は明るくなり元気が出てきました。スポーツに限らず一生懸命に生きている人は輝いています。その輝きは、周りの人たちに勇気や希望を与えてくれます。

この二学期、蒲生高校でもいろいろな活動がなされました。勉強や部活動、学校行事等、一生懸命に取り

組んで成果を出した人もいました。一生懸命に取り組んだ結果は、自分のためばかりか、周りの友達にも喜びや感動、更に夢や希望をも与えているんだ、ということ誇りに思っています。

蒲生高校生の皆さんは無限の可能性を秘めています。その可能性を現実のものにするために、自分の出来ることを一生懸命に努力し輝いて欲しい。そして、お互いの輝きが重なり合って、蒲生高校全体が大きく輝き、地域をも明るく元気にしてほしいと願います。

教頭 土持 正三



選手宣誓

元気いっぱいの子ばらしい体育祭となりました。

大会スローガンは「秋の空 君に無限の可能性 ~ Never give up! ~」で、生徒たちは普段の練習と鍛錬の姿を、全力で体現してくれました。総合優勝は3年生で、競技の部、応援の部とも合わせた完全優勝でした。

一生懸命の体育祭

9月10日(土)



クロスできた!(集団行動)



ヤッター(100m走)



綱引き

多彩な展示・舞台 大楠祭 11月2日(金)3日(土)



High School Musical

展示・ステージ・バザー各部門においても多彩で完成度も高く、充実した2日間となりました。

テーマ「みんなが主役 大楠祭 ~Everyone is a Leader~」

寺田 眞子(普1-2 伊敷台中)

テーマソング「You&I」作詞・作曲 深川 絵未(普3-2 蒲生中)

最優秀賞

普2-1 展示部門「Come Back the Olympics~あの感動をもう一度~」

優秀賞

普3-2 ステージ部門
「High School Musical」

審査員特別賞

普1-1 展示部門

「蒲生高校PV」

情2-3 展示部門

つまようじアート

「THE☆WILD」



メダリストたちのサイン
(南日本新聞11.10掲載)



迫田選手の跳躍の高さ



「蒲生高校」 始めました

10月1日より学校からの連絡事項や配布文書を携帯電話で確認できます。すでに、学年PTAや大楠祭の案内等をご覧いただいたと思います。通信費がかかりますが、連絡事項の概要を確認できますので、ご利用下さい。(蒲生高校ホームページからもアクセスできます。)

携帯電話に直接アドレス(URL) http://kamo.edu.pref.kagoshima.jp を入力、または、二次元バーコードを読み取り、アクセスしてください。



携帯読み込み用
QRコード

「蒲生高校保護者の方へ~蒲生高校からの連絡~」で表示されます。

頑張っています

◎写真部...第36回 全国高等学校総合文化祭写真部門(8/9~12 富山県)

入賞 市屋 静代(情3-4 山田中)

◎弓道部...平成24年度 九州体育大会弓道競技(7/14 熊本県)

個人 出水 美里(情3-4 帖佐中)

◎ハンドボール部...始良伊佐地区秋季高等学校体育大会(10/4~5) 第3位

◎空手部...始良伊佐地区秋季高等学校体育大会(10/5) 団体組手の部 第3位

◎ソフトテニス部(女子団体)...始良伊佐地区秋季高等学校体育大会(10/4~5) 第3位

◎バスケットボール部(女子)...始良伊佐地区秋季高等学校体育大会(11/1~2) 第3位

◎吹奏楽部...第57回 鹿児島県吹奏楽コンクール(7/30)

高等学校の部Bパート 銀賞

◎第28回 三木露風新しい童謡コンクール

努力賞 上野 美里(情3-4 松橋中)

たつの赤とんぼライオンズクラブ努力賞 北迫 波留香(普2-2 加治木中)

◎第52回 鹿児島県高等学校弁論大会 藤野 絢夏(普1-2 舞鶴中)

◎ワープロ部

第59回 九州地区高等学校ワープロ競技大会(7/25 長崎県)

技能の部 個人 第3位 枇杷 祈里(普3-1 吉田北中)

第59回 鹿児島県高等学校ワープロ競技大会新人戦(10/7)

技能の部 団体 第3位

技能の部 個人 第4位 山下 歩美(情2-3 緑丘中)

年々減少する部員数で、九州大会連続出場のプレッシャーも並大抵ではないと思われませんが、

自らの心とも日々闘いながら練習しています。



みんなががんばったワープロ部